

令和4年度 研修について

言葉を正確に理解し適切に表現する子どもの育成

～文章全体で捉えながら「読むこと」の定着を図った系統的指導を通して～

目指す子ども像

根拠をもとに論理的に考え、粘り強く解決し合う子

【今年度の研究の柱】思考活動を通し、指導事項の確実な定着を図る。

【研究の進め方（授業のつくり方）】

- 1 教科書巻頭の指導事項・言語活動例の表から◎と○を確認。◎もしくは○が、「読むこと」の指導事項①～④（左参照）のどれに当てはまるか確認する。【ア→① ウ→② オ→③ カ→④】
- 2 教科書の単元末ページ「見通しをもとう」の学習活動を参考にし、授業を検討する。その際、対話や話し合いが生まれる思考活動の場を設定。指導案に位置づける。

ポイント

- * 国語科学習指導要領（解説）に記載されている具体的な記述を確認し、授業づくりに生かす。
- * 研究授業で扱うのは、◎○のどちらでも可。
- * 本時で扱った思考活動と指導事項の繋がりを明確にする。